coface FOR TRADE

インド

アジア太平洋地域 (APAC) 支払動向調査2026

調査対象企業数：511社 | 調査期間：2026年3月〜4月

インド企業が顧客に提供する**平均支払期間は66日**となっている。

大企業 2~3カ月

中小企業 43日

小売業界、金属業界、エネルギー業界では、70日を超える最も長い支払期間が設定されている。

94%

94%の企業が顧客からの支払遅延を経験。平均で2か月を超える支払条件が設定されているにもかかわらず、支払遅延は広範に発生している。過去12か月間で、回答企業の94%が合意された支払条件を超える遅延を経験した。特に、**建設・不動産業界、医薬品業界、輸送・物流業界**でその影響が大きい。

50%

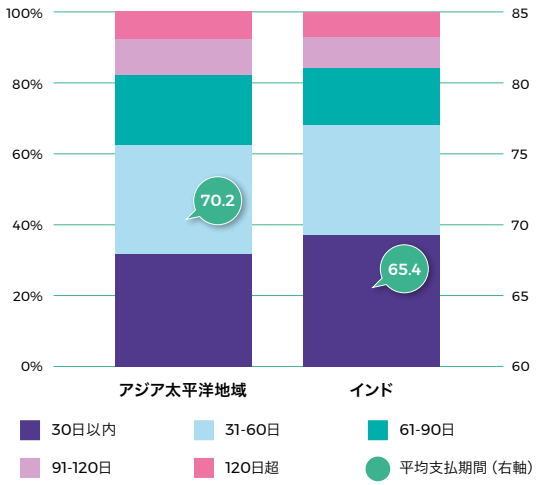
50%の企業が支払遅延の悪化を報告。支払規律は悪化している。回答企業の約半数が、過去1年間で支払遅延の頻度および深刻度が改善したとする企業を上回り、悪化したと回答した。特に、**小売業界、エネルギー業界、繊維業界、ICT業界、自動車業界**で顕著な悪化がみられる。

2/3

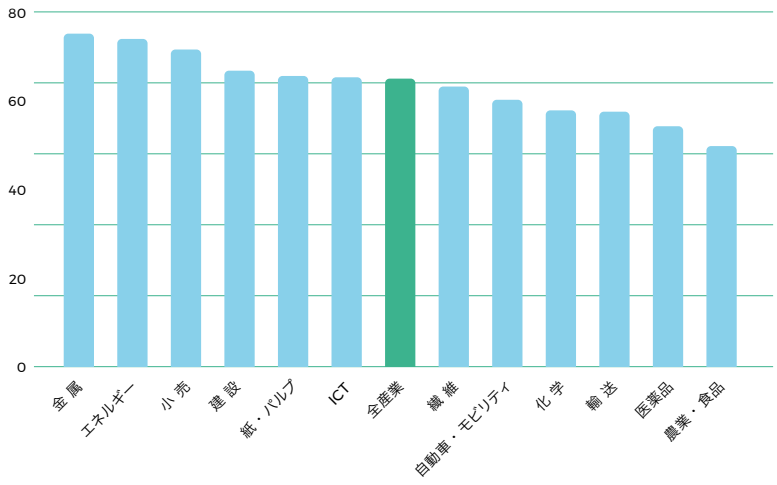
3分の2の企業が顧客の支払不履行を経験。顧客の支払不履行はインド企業にとって新たな課題となる可能性がある。回答企業の64%が、過去12か月間に少なくとも1件の顧客による支払不履行を経験しており、APAC平均の45%を上回る。**金属業界および建設・不動産業界**で最も高い発生率が確認された。

60%超の企業が支払リスクの上昇を予想。先行きについては慎重な見方が続いている。回答企業の60%超が支払リスクの上昇を見込んでおり、58%は今後12か月間で支払環境がさらに悪化すると予想している。特に、**ICT業界、小売業界、自動車業界**で悲観的な見方が強い。

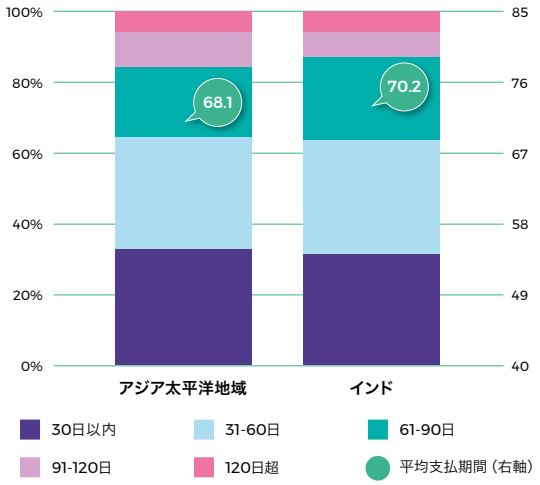
平均支払期間



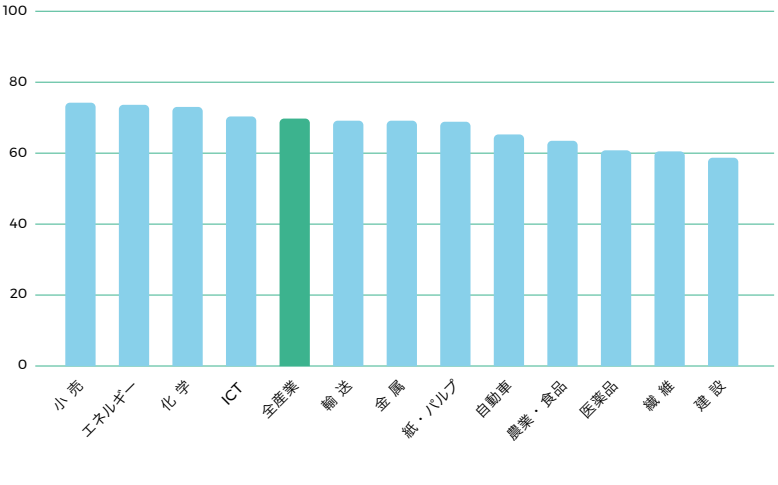
セクター別平均支払期間 —— セクター別（日数）



平均支払遅延日数



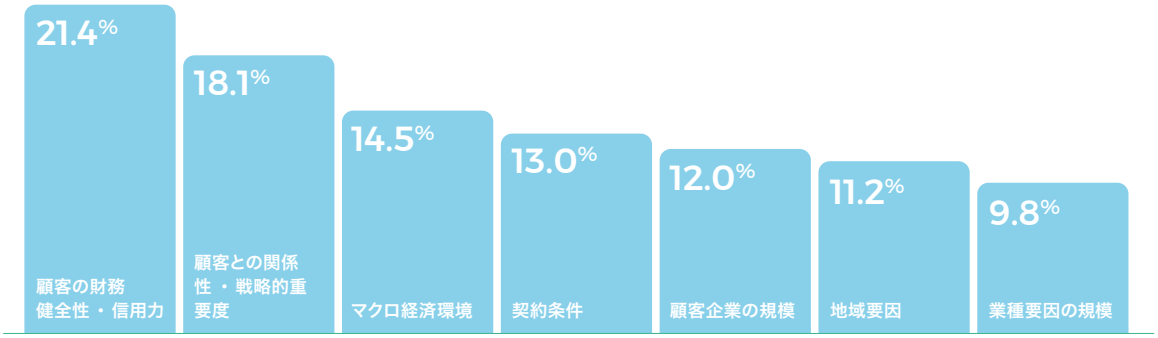
セクター別平均支払遅延日数 —— セクター別（日数）



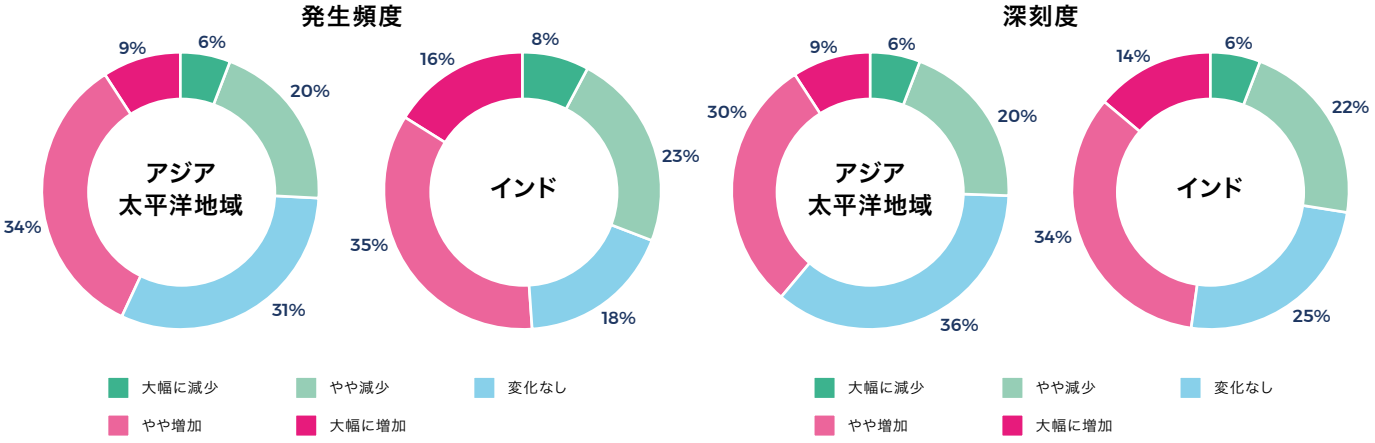
出典：コファス

- **支払期間：**顧客が商品またはサービスを購入してから、その支払期限が到来するまでの期間。
- **支払遅延：**支払期限日から実際に支払いが行われるまでの期間。

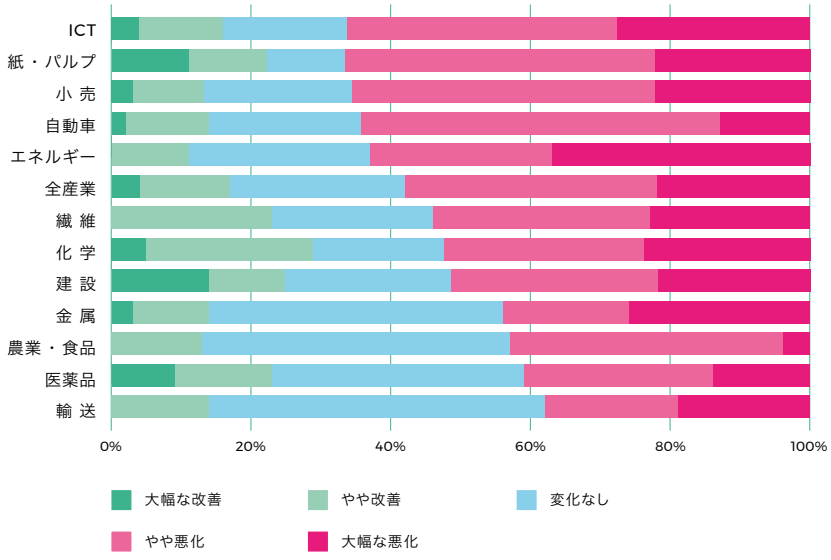
支払遅延の主な要因



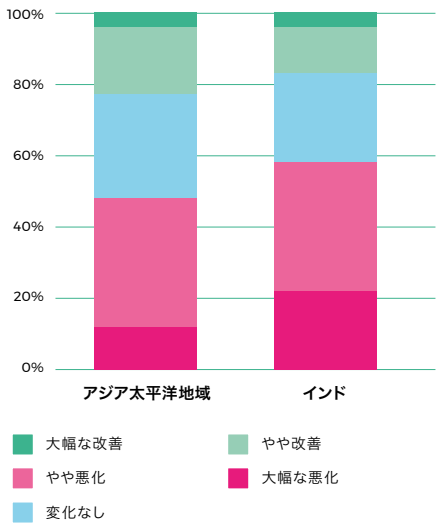
12カ月前との比較における支払遅延



今後12カ月の支払動向見通し —— セクター別



今後12カ月の支払動向見通し



出典：コファス

調査方法

コファスが毎年実施しているアジア太平洋地域支払動向調査の第16回調査は、2026年3月から4月にかけて実施された。本調査では、複数の業種およびアジア太平洋地域10市場において、2,800人の財務担当者から回答を収集し、このうちインドからは511人が回答。本調査では、支払行動の変化、流動性への圧力、顧客の支払不履行、および早期警戒指標を分析するとともに、支払リスクに対する企業のレジリエンス強化につながるガバナンス、分析体制、エスカレーションの枠組み、顧客対応の実務について評価している。